

大阪府教育委員会教育長 様

大阪府立長尾高等学校
校長 寶田 康彦

学校経営推進費 事業計画書

標記について、下記のとおり提出します。

1. 事業計画の概要

取り組む課題	B 生徒の希望する進路の実現
評価指標	・国公立大学合格者、難関私立大学（8私大・13私大）のべ現役合格者数の増加 ・医療看護系大学及び専門学校合格率の維持・向上 ・就職内定率100%維持、公務員試験合格率の向上
計画名	「学びの改革」プロジェクト1

2. 事業計画の具体的内容

学校経営計画の 中期的目標	1 確かな学力の育成と進路実現の支援 (1) 授業力の向上と確かな学力の育成 イ 主体的・対話的で深い学びを実現できる授業づくりを進める ウ 大学入学者選抜改革を踏まえ、社会で自立するために必要な基礎学力を育成するとともに、生徒の学習習慣の確立を図る		
事業目標	多様な進路希望の実現に向け、『知識・技能』を生かした『思考力・判断力・表現力』を育成し、小論文・プレゼンテーション・面接等でもそれらの力を発揮できるようにすることが喫緊の課題である。 本事業により『進路学習室』を整備し、「進路実現の支援」をより一層充実させ、生徒が意欲的・主体的・協働的に学習に取り組み、上記の力と自信を持たせることで進路実現につなげる。 ◆『進路学習室』の整備 (1) 『進路学習室』の有効活用 ①黒板を撤去し、前・横・後面をホワイトボード化し、プロジェクターの投影、教室の分割活用を可能にする。 ②Wi-Fi環境を整えタブレットを配備する。調べ学習、学習支援ツールを利用した自学自習への活用につなげる。 (2) ICT機器の活用・工夫による学びの充実 ①短焦点プロジェクターを設置し、「視覚・聴覚に訴える教材」の活用により、生徒の思考・理解を深める。 ②プロジェクター機能付きビデオカメラによる映写、書画カメラやプロジェクターによる投影により、複数のコンテンツをレスポンス良くホワイトボード上に提示し有機的に活用することで、生徒の気づきや理解を深める。 (3) 「主体的・対話的で深い学び」の実現 ホワイトボード仕様のパーティションを適宜活用しグループ学習を行う。録画したプレゼンや面接をもとに、生徒が自身の発表や言動を客観視して振り返り、討論しながらより良いものを模索する、他のグループの学びを共有するなど、「主体的・対話的で深い学び」につなげる。		
取組みの概要	整備する 設備・物品 (概要)	教室3面ホワイトボード設置、天井吊下げ式電子黒板機能付き短焦点プロジェクター、書画カメラ、ノートパソコン、ビデオカメラ、三脚、パーティション、タブレット型端末機、充電保管庫、無線ルーター、収納映写台	
	取組内容	前年度	・空調設備のない進路資料室で調べ学習や進路相談、面接指導を実施。 ・教員によるガイダンス・講習、大学等の外部講師による進路講演会、説明会、出前授業を実施。 ・看護医療系大学・専門学校合格に向けた教員及び外部講師による受験対策講座、教員による面接指導を実施。 ・公務員、就職希望者対象に、教員及び外部講師による受験対策講座を実施。 ・「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた教員研修会及び公開授業を実施。 ・進路指導室に近接し空調の効く多目的教室を「進路学習室」とし、椅子・机及び調べ学習用資料を整備。 ・学習支援ツールのH30年度導入に向けて、先進校視察、校内研修を実施し導入を決定。
		初年度	・PTを中心に、『進路学習室』の機能を生かした指導計画をブラッシュアップ（4月～7月） ・調べ学習、ガイダンス、講習・講座、プレゼンテーション、面接指導を実施（4月～） ・『進路学習室』の利用時間を記録し、次年度の利用率向上につなげる（4月～） ・指導計画に合わせて、ICT機器の効果的活用に向けた全教員による勉強会を実施（7月～8月） ・ICT機器を活用した教材の開発、プレゼンテーション、グループ学習等の実践を授業力の向上につなげる（9月～） ・学習支援ツールを活用できる進路学習教材の開発（7月～3月） ・本事業の進捗をもとに「『学びの改革』プロジェクト2・3（授業力・英語力の向上）」の検討（9月～3月） ・上記指標、勉強会で作成したアンケートで効果検証し、次年度計画を更にブラッシュアップ（1月～3月）
		2年目	・調べ学習、ガイダンス、講習・講座、プレゼンテーション、面接指導を実施（4月～） ・『進路学習室』の機能を生かした指導を随時見学し、教員間で指導のノウハウを共有（4月～） ・学習支援ツールを活用できる教材の開発及び活用（4月～） ・指導計画に合わせて、ICT機器の効果的活用に向けた全教員による勉強会を実施（7月～8月） ・ICT機器を活用した教材の開発、プレゼンテーション、グループ学習等の授業を見学（6月・10月） ・本事業の成果を生かした「『学びの改革』プロジェクト（授業力・英語力の向上）」の具体化（11月～3月） ・PTで上記指標及びアンケート、利用時間で効果検証。次年度計画を更にブラッシュアップ（2月～3月）
		3年目	・調べ学習、ガイダンス、講習・講座、プレゼンテーション、面接指導を実施（4月～） ・『進路学習室』の機能を生かした指導を随時見学し、教員間で指導のノウハウを共有（4月～） ・本事業の成果を生かした「『学びの改革』プロジェクト（授業力・英語力の向上）」の開始（4月～） ・学習支援ツールを活用できる教材の開発及び活用（4月～） ・指導計画に合わせて、ICT機器の効果的活用に向けた全教員による勉強会を実施（7月～8月） ・ICT機器を活用した教材の開発、プレゼンテーション、グループ学習等の授業を見学（6月・10月） ・PTで上記指標及びアンケート、利用時間で効果検証。次年度計画を更にブラッシュアップ（2月～3月）
取組みの 主担・実施者	主 担：「学びの改革」PT（校長、教頭、首席、指導教諭、進路指導主事、教務主任、情報科教員） 実施者：全教員		
成果の検証 評価方法	初年度	・国公立大学合格者数：0名⇒1名 ※H28年度3年生：8クラス→H29：7クラス 難関私立大学合格者数：8私大20名以上、13私大85名以上 (H28：8私大20、13私大64名→H29：19、76名) ・医療看護系大学及び専門学校合格率の維持・向上：大学80%以上、専門学校100%維持 (H28：大75、専64%→H29：80、100%) ・就職内定率：100%維持。公務員試験合格率の増加：35%以上 (H28：80% →H29：25%)	
	2年目	・国公立大学合格者：1名⇒3名 難関私立大学合格者数：8私大25名以上、13私大90名以上 ・医療看護系大学及び専門学校合格率の維持・向上：大学85%以上、専門学校100%維持 ・就職内定率：100%維持。公務員試験合格率の増加：50%以上 (H29：25% →H30：30%)	
	3年目	・国公立大学合格者：3名⇒5名 (※H32年度3年生：6クラス) 難関私立大学合格者数：8私大30名以上、13私大95名以上 ・医療看護系大学及び専門学校合格率の維持・向上：大学90%以上、専門学校100%維持 ・就職内定率：100%維持。公務員試験合格率の増加：75%以上	

3. 事業費

事業費総額	3,088,707	円
-------	-----------	---

積算内訳

* 決算科目(節)を明示し、節毎に積算内訳を記載すること。				見積に基づく清算			実勢価格に基づく積算		
科目(節)	番号	内訳	1年目	2年目	3年目	単価	数量	金額	
1 報償費	1								
	2								
	3								
							小計		
2 旅費	1								
	2								
	3								
							小計		
3 消耗需用費	1	収納映写台				¥60,480	1	¥60,480	
	2	12.9インチ iPad Pro 64GB						¥1,502,668	
	3	無線ルーター				¥29,700	1	¥29,700	
	4	パーティション(ホワイトボード仕様)				¥48,300	2	¥96,600	
	5	書画カメラ				¥39,960	1	¥39,960	
	6	プロジェクター機能付ビデオカメラ				¥54,000	2	¥108,000	
	7	プロジェクター機能付ビデオカメラ予備バッテリー				¥9,720	2	¥19,440	
	8	三脚				¥8,424	2	¥16,848	
	9	プロジェクター機能付ビデオカメラ				¥57,240	1	¥57,240	
	7	タブレット型端末充電保管庫仕切版				¥8,575	1	¥8,575	
	8	パーティション(3連)				¥87,000	2	¥174,000	
	9	12.9インチ iPad 保護フィルム				¥1,598	55	¥87,890	
							小計	¥2,201,401	
4 維持需用費	1	黒板張替 (W5,300×H1,200) ※前・後面				¥77,760	2	¥155,520	
	2								
	3								
							小計	¥155,520	
5 役務費	1								
	2								
	3								
							小計		
6 委託料	1								
	2								
	3								
							小計		
7 使用料 及び賃借料	1								
	2								
	3								
							小計		
8 備品購入費	1	天井吊下げ式短焦点プロジェクター(取付け等一式)				¥418,705	1	¥418,705	
	2	タブレット型端末充電保管庫				¥131,641	1	¥131,641	
	3	ノートパソコン				¥133,920	1	¥133,920	
							小計	¥684,266	
9 工事請負費	1	電源工事				¥47,520	1	¥47,520	
	2								
	3								
							小計	¥47,520	
10 負担金・補助 及び交付金	1								
	2								
	3								
							小計		
							合計		¥3,088,707